

『おかやまアスリートサポート』への協賛に関する趣意書

謹啓 皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、スポーツは、人生をより豊かで充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求にこたえる世界共通の人類の文化の一つであり、岡山県におきましても、『スポーツ立県おかやま』の実現を目指し、スポーツの振興を図っているところでもあります。

こうした取り組みが結実し、岡山のスポーツ界は着実に発展を遂げており、国内トップリーグで活躍するチームも増えてまいりました。

国民体育大会においても、平成17年の岡山国体以降今日まで天皇杯10位台を続け、他県に例のない好成績を上げております。しかしながら、その内容を検証すると、成年種別の獲得得点にはこのところ遞減傾向がみられ、決して楽観できる状況にはありません。

この本県の競技力を今後も維持、向上させていく上で、大きな課題の一つとなっているのが、アスリートが社会人になっても競技を続けられる環境をいかに作り上げていくかであります。本県の企業スポーツチームは現状ではごく限られており、戻りたくても戻る場所がなく、県外に進学したまま地元に戻らないアスリート、就職を契機に地元を離れて県外に出るアスリートが多いのが実情です。県や中学校・高等学校体育連盟等と連携しながら、ジュニア・アスリート育成強化に係る各種事業に取り組んでいる中であって、このような状況は誠に残念でなりません。

アスリートのUターン支援については、関係団体等との連携のもと、さまざまな取り組みを実施しているところでありますが、これを通じて痛感しますのは、しっかりとした受け皿をつくっておくことが何より重要だということです。

本県におきましては、令和7年に西日本地域初となる冬季国民スポーツ大会（現国民体育大会）のスケート・アイスホッケー競技開催を控えております。また、現在進められている学校部活動の地域移行に合わせて、優秀な指導者の確保が急務となっております。

このような中、本県のスポーツ振興をさらに促進するため、本会では、この度、『おかやまアスリートサポート』制度を創設し、率先してアスリートを雇用してくださる企業・団体の皆さまを広く募り、県内外の学生アスリート等の県内への就職を促進したいと考えております。

アスリートは、人並み以上の集中力と競技で培った幅広い人脈を有し、優秀なビジネスパーソンとしても活躍してくれるものと考えます。

何とぞ趣旨にご賛同いただき、格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

謹白

各 位

令和5年3月吉日

公益財団法人岡山県スポーツ協会
会長 越 宗 孝 昌